

“ほっと” 里山

委員会のこれから...

05 もっと仲間 が必要です!!



リーディングプロジェクトを実施してみて、良かった点、もっとこうしたらよかった点、などの意見がたくさん出ましたが、みんなが共通して感じた思い、それは...

「もっと仲間が必要だね!!」

ということ。

「思い」も「アイデア」も「技術」も「人手」もまだまだ足りない。地域には、もっとたくさんの仲間がいるはず。

これからもずっと続く“ほっと”里山委員会のメンバーを増やしていくため、私たちが積極的にこの思いを伝えていこう!! と、今の“ほっと”里山委員会のメンバーは思っています。

「わしの地域でこんな事をしたら面白いのにおう」
(一緒にやってくれる人がおったらのおう...)
「なにか地域でわしが活躍できることがないかのう」
(誰かさそってくれんかのう...)

“ほっと”里山委員会は あなたの参加を必要としています!!

費用は一切かかりません。

委員会は基本的に月1回平日の夜、2時間程度で開催しています。

(グループで行動する場合はそのグループで日程を決定します)

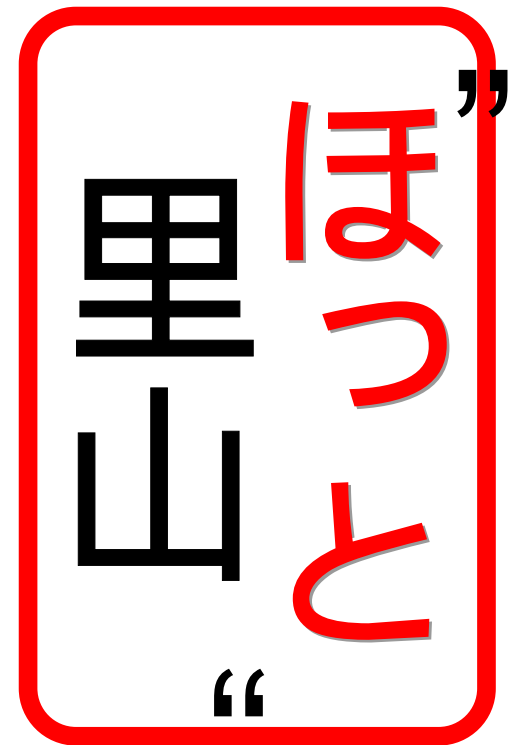
和気あいあいとした雰囲気、初めての参加も気軽です。



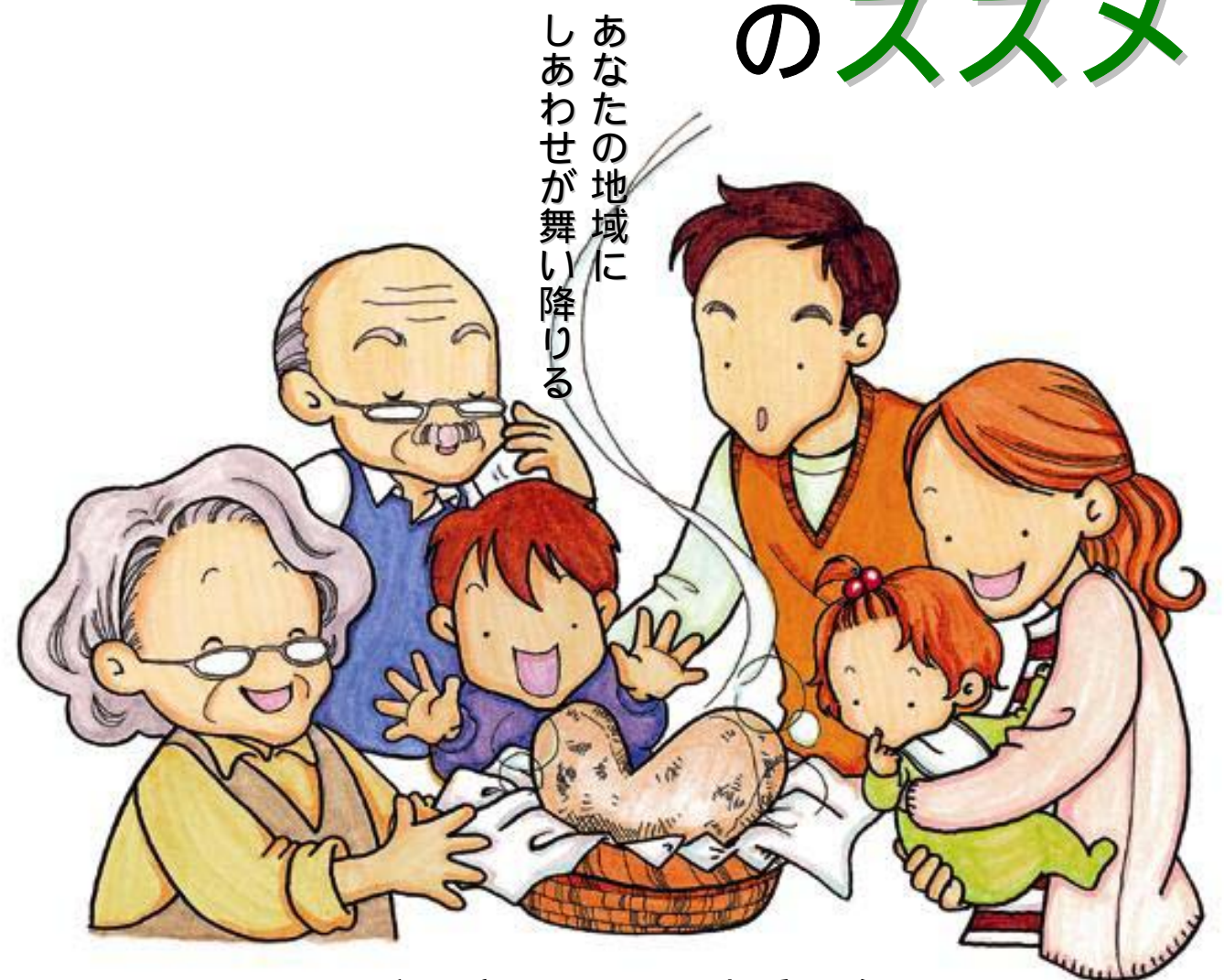
“ほっと”里山委員会に関するお問い合わせは...

庄原市市役所 社会福祉課内 “ほっと”里山委員会事務局
〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目 10-1 電話(0824)73-1111 FAX(0824)72-3322

平成 19 年度、
庄原市の「地域福祉計画」をつくる目的で、
“ほっと”里山委員会がスタートしました。
「福祉ってなんだろう？」
「しあわせってなんだろう？」
最初は、そんなことをみんなで話しながら、
次の年には、地域のしあわせをめざした
6つのプロジェクトにも取り組みました。
これからも、
“ほっと”里山委員会はどんどん
新しいことに挑戦していきます。
そのためには、もっと仲間が必要です。
きっと、あなたがやりたいことも、
ここで実現できるはず。



のススメ



庄原市“ほっと”里山委員会

“ほっと” 里山

委員会の

これまでのあゆみ

02 課題は なんだ!?

自分たちが描いた夢…、じゃあなぜ、今はその夢が実現できていないのか。それこそが、私たちが抱えている課題ではないか。そんな思いで、課題を出し合いました。

課題ともなると、みんなから意見がでるわ…。前に貼り切れないほどの課題が出ましたが、最後にはみんなで優先的な課題の絞り込みを行い、今の庄原市の地域福祉の課題を選びました。



地域をシェアしていくに当たって、大切なのは「こんな、まちになったらいいな!」という“思い”。この思いが強ければ強いほど、それが、行動に移していく原動力になります。

委員会では、グループに分かれてそれぞれ、模造紙にウィッシュポエム(望みの詩)を表現し、朗読を行いました。この思いこそが、里山委員会の原点です。



03 地域で こんなことがやりたい!

みんなが選んだ地域課題の解決のために、「私はこんなアイデアを持っている!!」という人が、率先して自分のやってみたいことをPRして、それに賛同してくれる仲間を集めました。

仲間が決まれば、さっそく企画会議。「私たちはどんな思いでやろうと思っているのか?」「地域の人たちはどんなことを望んでいるんだろう?」「実際に実現可能かな?」そんなことを整理しながら、模造紙に書き出してまとめていきました。

まとまった“やってみたいこと”=リーディングプロジェクトの実施の前には、各グループがみんなの前で自分たちの取り組み内容を発表しました。



01 夢を 描く

04 とにかく 実践してみよう!(リーディングプロジェクト)

みんなが企画したリーディングプロジェクトは全部で以下の6つ。約2か月間の間にそれぞれのグループで実践が行われました。

いただきます! 野菜畑からの素敵な贈り物

野菜を作ったり貰ったりしても、食べきれず捨てる時があります。漬物達人などの知恵と技を活用して、地元野菜の再生・再利用に取り組みました。



なんでも笑顔 お助けたい

子どもたちに昔ながらの遊びを伝え、また、一緒に料理をつくるなどして、この地に生まれ、この地で育つことへの喜びを感じてもらいました。



心も体もしあわせ ”まんぷく食堂”

高齢者や若者を問わず、市民が知り合い、交流できる食事を開催することをめざして、まずは里山委員会の交流会を開催しました。



この指とまれ “しょうばら”探検隊

合併により広域となった庄原市では、市民が知らない地域や景色、名所・名人も数多くあることから、それらの魅力を調査・発掘し、紹介しました。



むじゅうりょくくうかん ~居心地いいたまり場をつくらう~

市民が気軽に集える「たまり場」を設け、学校の帰りによって宿題をやったり、いろいろな人が会話や食事を楽しむ場にしました。



お笑いダイエット大作戦

健康であり続けることは、本人・家族の「しあわせ」に直結する願いです。同じ悩みを持つ仲間を募り、楽しく愉快地にダイエットに挑戦しました。

